

【及位】とは

○山形県の最北部で、秋田県に結ぶ真室川町「及位」という地名がある。地元ではノゾキと発音するが、なかなか読むのが難しい。「日本奥地紀行」でイザベラバードは Nosoki と清音で記している。この村の西方にそびえる甕山は、昔修験者の道場で栄えたという伝説がある。

この山には、男根の形をした岩山の男甕山と、女陰の形をした岩山の女甕山とがあり、この岩穴にさかさまにつり下がり、穴底を除くことが最後の修行とされ、位が授けられたという。

のぞきの地名もそこからおこったといわれ、及位(位二及ブ)と書いてのぞきと読むのもこの修行からきているといわれる。

また、及位はもともと山間の村で、水田も少なく生活が楽でない。よって位に及ばず、人間としての位から除かれたところという説をとなえる人もいる。他に、アイヌ語という説もある。

※「羽州街道 及位宿」令和2年8月
真室川町歴史民俗資料館編集・真室川町教育委員会発行 から一部抜粋



甕山(こしきやま)